

請願第3号

幼児教育振興助成に関する請願

紹介議員

常盤	ゆかり
杉谷	伸夫
長尾	美矢子
上田	雅
和島	一行

幼児教育振興助成に関する請願

(1) 請願の要旨

1. 加盟各幼稚園の設備充実のために、一園当りの助成を考えていただきたい。
2. 二歳児への幼児教育を行う幼稚園への補助金をお願いしたい。
3. 幼児教育を支える療育状況の更なる改善をお願いしたい。

(2) 請願の理由

先進国 35か国で形成している OECD の幼児教育への投資の充実こそが、各国の持続可能な成長を保証するという主張や幼児教育の無償化の動きなど、幼児教育への社会の関心が深まってきていることは、幼児のすこやかな成長を願う保護者や幼児教育の中心を担ってきた幼稚園にとって、大変嬉しいことです。

幼児教育は、「自発的な遊びを通じて生涯にわたる人格形成の基礎を築いていく」教育です。そのためには、自発的な遊びを促す環境を整えることがとても大切です。乙訓私立幼稚園に所属する幼稚園は、各園の自主努力で環境設備を整えています。市町村が各園に助成していただければ、子どもたちの成長を支える環境はさらに豊かなものになるでしょう。

最近では、二歳児への教育も、幼稚園に託そうという動きがあります。これは、地域の絆が失われ、地域の教育力が下がっていると言えます。そのために、幼稚園に対して、親と二歳児の通園や二歳児の幼稚園での受け入れ要請を国や府レベルで行政が推し進め

ています。が、現状は、子育て支援の一環として、幼稚園自身の自己負担で、その事業を担っています。よって、二歳児への幼児教育や子育て支援に対して、国や府はこの援助を決めました。これに応じて、市町村レベルでの補助金をお願いしたく存じます。

また、もう一つの大きな問題としては、特別支援教育やインクルーシブ教育の問題があります。特別支援教育を必要とするお子さんの健全な発育のためには、適切な療育の手助けが必要ですが、このための施設や環境が乙訓地域では足りていません。そのためにも、近い将来行われる京都府向日が丘支援学校の改築や、それに合わせてなされている長岡京市の共生型福祉施設構想に、就学前の療育を必要とする子どもたちを支える機能を持たせていただきたいと存じます。この充足によって、特別支援を必要とする子どもたちへの早期の対応を図ることができ、就学後の特別支援教育やインクルーシブ教育も、大きく進展すると思えます。私たちは、これらのことが乙訓地域の子どもたちの成長をしっかり支えるものとなると信じています。

(3) 請願の内容

私立幼稚園助成に関して

子どもたちの健やかな育ちを目指し、質の高い幼児教育を実現するために、幼稚園では、新たな状況に対応できる設備の充実を図っています。そのため、多額の経費が必要です。地域の未来を創ることだと認識していただき、幼稚園への助成をお願いします。

二歳児への幼児教育を行う幼稚園への補助金をお願いしたい。

二歳児預かりを社会的要望を受けて、幼稚園が経済的負担を負いながら行っています

が、これに対して、3号子ども（認定こども園・保育所における認定区分）の預かり補
助をなそうとする国の方針に呼応して、市町村でもこの補助をなしていただきたいと存
じます。
幼児教育を支える療育状況の更なる改善について
特別支援教育を必要とするお子さんの健全な発育のためには、適切な療育の手助けが
必要ですが、このための施設や環境が乙訓管内では足りていません。そのためにも、近
い将来行われる京都府向日が丘支援学校の改築や、それに合わせてなされている長岡京
市の共生型福祉施設構想に、就学前の療育を必要とする子どもたちを支える機能を持た
せていただきたいと存じます。
以上、私たち乙訓地区の私立幼稚園の保護者と教職員は地域住民の期待に応えるため署
名簿を添えて助成をお願いいたします。

平成30年11月29日

請 願 者

向日市議会議長

永 井 照 人 様